

## 市政懇談会が開催されました



3月19日、区民と市政をつなぐパイプ役として活躍されている山科区市政協力委員連絡協議会の各学区会長と門川京都市長との懇談会が開かれました。

懇談会では、連絡協議会会長会の北村代表が、「環境分野や地域の安心・安全活動などの取組について率先して推進していきたい」とあいさつされました。また、市長からは、日ごろの取組や活動に対する感謝と、市政の発展に向けて、より一層の協力を呼びかけられ、市長と参加者との活発な意見交換が行われました。

●問い合わせ先/区まちづくり推進担当  
(☎592-3088)

## 京都市市民憲章推進者区長表彰



3月4日、区役所にて京都市市民憲章推進者区長表彰式が行われました。平成26年度の推薦テーマ「日本文化や美しい景観など京都らしさを守り育てよう～世代を超え、京都に伝わる魅力を次世代に引き継ぐまちづくり～」と5つの実践目標に基づき、活動を推進してこられた区民16名と9団体に、区長から表彰状が贈られました。

### 個人の部

- |               |                |
|---------------|----------------|
| 奥田 定之さん(勤修学区) | 末國 美智代さん(勤修学区) |
| 中本 貴久さん(勤修学区) | 河村 富士子さん(山階学区) |
| 高橋 真紀さん(山階学区) | 三原 里枝さん(山階学区)  |
| 谷水 美鈴さん(鏡山学区) | 中村 隆直さん(鏡山学区)  |
| 奥村 百代さん(音羽学区) | 久郷 隆幸さん(陵ヶ岡学区) |
| 向 寛二さん(陵ヶ岡学区) | 桑山 謙さん(大宅学区)   |
| 林 慈子さん(大宅学区)  | 岩村 義憲さん(大塚学区)  |
| 竹中 征美さん(西野学区) | 辻倉 洋子さん(西野学区)  |

### 団体の部

- ・鏡山環境美化
- ・山科駅前セーフティネット
- ・パトロール百々
- ・キャット・ハンズ
- ・大塚学区獣害対策チーム
- ・やましなを語りつぐ会
- ・ふるさとの良さを活かしたまちづくりを進める会
- ・車石・車道研究会
- ・山科疏水な花ボランティアグループ

●問い合わせ先/区まちづくり推進担当 (☎592-3088)

## 生活安全 スポットニュース

### 柵辻交番と百々交番が「平安なでしこ交番」にリニューアル!

3月25日、柵辻交番と百々交番が、女性警察官による24時間対応可能な「平安なでしこ交番」にリニューアルされ運用が開始されました。

両交番では、女性警察官が通常の交番業務に加え、ストーカーやDV、性犯罪などの被害対応や、女性、高齢者からの相談等に24時間対応します。また、今まで以上に、見回り活動や合同パトロール活動を、区民の皆さまと共に取り組んでいきます。

※事件事故対応のため、交番に女性警察官が不在のことがあります。

●問い合わせ先/  
山科警察署 (☎575-0110)



ものづくりCLUBで、みちくさの家の看板を製作

●問い合わせ先/記事について:区総務・防災担当(☎592-3066)「みちくさの家」について:ヴィラ山科居宅介護支援事業所清水焼団地センター(☎632-9501)



2月22日、第33回山科区民ボウリング大会が開催され、多くの方の参加のもと、熱戦が繰り広げられ、昨年、一昨年と準優勝の音羽体育振興会チームが雪

辱を果たし、見事、団体の部を制しました。大会の主な結果は次のとおりです。団体の部体育振興会チーム 優勝 音羽 準優勝 勤修 三位 百々 個人の部 男子優勝 大宅学区 安田英治さん 女子優勝 音羽学区 盛岡銘子さん

●問い合わせ先/区まちづくり推進担当 (☎592-3088)

### 区民ボウリング大会 優勝は音羽体育振興会チーム

予選リーグを3戦全勝で勝ち抜き、見事3位入賞を果たしました。

### 区民スポーツ最前線 勤修小学校ラグビーチーム 全国3位の快挙

3月7日、8日、秩父宮ラグビー場(東京都)で開催された「サントリーカップ第11回全国小学生ラグビー選手権大会」に、勤修小学校ラグビーチームが5年連続5回目の出場を果たしました。



●問い合わせ先/区まちづくり推進担当 (☎592-3088)

赤ちゃんからお年寄りまで、ふらっと立ち寄れる場所がオープンしました!「みちくさの家」

地域のコミュニティのつながりの希薄化が課題になる中、誰でも気軽に立ち寄ることができるスペースを開設する動きが広がっていますが、多くは週に1回とか月に何回とか限られた回数です。「こは、いつでも立ち寄れる場所を目指しています。ただ訪問事業のために職員が全員出してしまう時間帯もあり、いつでもどうぞとはまだ言えないんです。」

ものづくりCLUBは京都工芸繊維大学の学生が中心となり運営し、木や竹などを使ってフォトスタンドを作るなど工作をしています。大学院生の土肥さんによると、ちびっこからお年寄りまで幅広い世代が参加し、自然に世代を超えた交流が生まれることがいいところだそうです。

